

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき、産業廃棄物が適正に処理されているか確認している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気使用量及び燃料使用量からエネルギー使用量を把握しており、本社の蛍光灯交換時は、LEDライトを選択し、節電に取り組んでいる。 ・車両入れ替えの際は、低燃費車両を選定し、CO2削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電気や燃料使用量を集計し温室効果ガス排出量を把握し、事業活動温暖化対策及びエコ通勤への任意参加による意識向上を行っている。 (2021年度9,234kg-CO2→2024年度7,955kg-CO2)		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事では、汚濁防止フェンス、オイルフェンスの設置等、排水の汚濁防止対策を行っている。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内文書はペーパーレス化を継続し、可能な限り裏紙を使用している。 ・ペットボトル、空き缶、空き瓶は自分で水洗いし、分別ごみ箱へ入れている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水道周りに節水ポスターを掲示し、従業員に節水を促している。 ・汚濁水は現場内等に流さない様、沈殿槽・汚濁防止フェンスを設置している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入、エコマーク商品購入を推進している。 ・工事で再生クラッシュランを使用している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 "伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●															12.2 12.5		14			
35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		・社用車入れ替え時には、環境対応車を選定している。											9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2	

